



サカキ (園芸品種)

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 園芸品種



科名 サカキ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い

葉の周囲に斑が入るため覆輪（ふくりん）になるサカキの園芸品種がある。やや不規則なことからフイリサカキと呼ばれることが多い。白からクリーム色の斑が入り、新芽時は赤味を帯びて美しい。日陰地が明るい雰囲気になる。サカキに比べると葉が細長く、生長はやや遅い。



Memo

榊は神事に欠かせない樹であったが、斑入り品種は生垣などにも利用されイメージが変わってきた。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花	期						■						
果	実											■	
紅	葉												
施	肥	■ (痩せ地でなければ不要)											
剪	定	■					■						■

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾	○	○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	◎		弱
潮 風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○		○				

ポイント

根はやや浅根性（根の張り方が浅い）だが、日陰にも適応し管理の手間はかからない。日差しが強く乾燥する場所は避けるとよい。

剪 定

樹形は自然に整うため手入れは簡単。艶のある葉は、生垣にもお薦め。刈り込みは新芽の展開前にするとよい。生垣は5月、7月、10月の年3回剪定すると維持しやすい。

病虫害

風通しが悪いとカイガラムシが発生し、その排泄物に「すす病(カビの一種)」が誘発される。原因はカイガラムシのため一緒に駆除する。